

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
下水汚泥焼却灰混入アスファルト混合物	下水汚泥焼却灰を用いた混入アスファルト混合物	下水汚泥の焼却灰から製造したアスファルトファイバーを用いたアスファルト混合物。	下水汚泥の焼却灰をアスファルトファイバーに用いることにより、汚泥焼却灰の最終処分量（埋め立て処分量）を削減できる。	一般アスファルト混合物	③② (①)	<ul style="list-style-type: none"> ○本品目については、統合品目「下水汚泥焼却灰混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました ・環境安全性、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
石炭灰溶融スラグ混入カラー舗装材	石炭灰を使用した舗装用カラー骨材	車道のバスレーンや遊歩道などのカラー舗装に使用するカラー骨材として、石炭火力発電所から発生する石炭灰のうちのフライアッシュを原料として製造したものの。	石炭火力発電所において発電の際に副産物として生成するフライアッシュを原料として有効利用し、カラー骨材を製造して、カラー舗装に使用することにより、フライアッシュの最終処分量の削減と、天然骨材の採掘量を削減できる。	天然骨材	③② (①)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「石炭灰溶融スラグ混入カラー舗装材」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました ・環境安全性、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承ください。
都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物	溶融スラグアスファルト混合物	一般廃棄物である都市ごみ焼却灰を1200℃以上に溶融無害化した除冷スラグとし、破碎し砕石としたものを使用したアスファルト混合物	一般廃棄物を有効処理することで最終処分量が削減される	アスファルト混合物	③ (①)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ・環境安全性、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承ください。
廃タイヤカーボン混入アスファルト混合物	廃タイヤカーボンを利用した改質添加剤	使用済みタイヤをタイヤメーカーが回収し、発電用、給湯用ボイラー燃料として使用した後、その焼却残渣から回収された微粉カーボンをアスファルト混合物の改質用添加剤として利用する。アスファルト混合物に石粉の代わりに約2%添加することにより、混合物の耐久性が向上する。	従来、焼却残渣物は埋立て処分されていたが、道路舗装材としてリサイクルすることにより、処分地の延命と、地球資源の保全に寄与する。	高耐久性排水性舗装用バインダー	④③② (①)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度とは異なる判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「廃タイヤカーボン混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○調達1単位あたりの低減効果が小さく、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました ・環境安全性、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承ください。

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
下水汚泥溶融スラグ混入アスファルト混合物	溶融スラグ使用加熱アスファルト混合物	一般廃棄物や下水汚泥等からの溶融スラグを破碎・分級し、粗骨材および細骨材の一部として用いたアスファルト混合物	溶融スラグを原料として有効に活用し骨材として利用することによりごみや下水汚泥の最終処分量を削減できるとともに、天然資源の消費量を抑制できる。	天然砂（海砂、山砂）、砕砂又は砕石を使用したアスファルト混合物	③ (①)	<p>【下水汚泥溶融スラグ混入アスファルト混合物の場合】</p> <p>○本品目については、統合品目「下水汚泥溶融スラグ混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>・環境安全性、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物	溶融スラグ使用加熱アスファルト混合物	一般廃棄物や下水汚泥等からの溶融スラグを破碎・分級し、粗骨材および細骨材の一部として用いたアスファルト混合物	溶融スラグを原料として有効に活用し骨材として利用することによりごみや下水汚泥の最終処分量を削減できるとともに、天然資源の消費量を抑制できる。	天然砂（海砂、山砂）、砕砂又は砕石を使用したアスファルト混合物	③ (①)	<p>【都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物の場合】</p> <p>○本品目については、統合品目「都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>・環境安全性、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため</p> <p>○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
ガラスカレット骨材を用いたコンクリート製品	廃ガラス砂入り土木用・道路用コンクリート二次製品	一般廃棄物として排出された色付廃ガラス瓶を破碎してできたガラス細骨材を、自然砂に対して5%を置換し、R材を混和材として使用することで、アルカリシリカ反応が大幅に抑制された製品です。ガラスの含有量を抑えた上にアルカリシリカ反応に大変有効なR材を添加するという二重の制御法を施している為、品質は通常の製品と全く同等です。又、廃棄時は再生骨材として再利用が可能で、少量含有法により半永久的に循環する事が出来る。 福井県、富山県においては「リサイクル認定品」、鳥取県では「県土整備部リサイクル製品使用基準」の適用区分Aの品目に選定されており、すでに平成12年度より公共工事に数多くの使用実績がある。	まだまだ再利用されていない色付廃ガラス瓶を、コンクリート二次製品の細骨材として有効利用する事は、ゴミの減量化・資源化を図り、埋立地の延命化に貢献し、自然砂採掘による自然破壊をも防げる。又、ガラス瓶の再生産による熱エネルギーの節約やCO2発生量の抑制に大きく貢献できる。	自然砂、自然砂利を使用した土木用・道路用コンクリート製品	③② (①)	<p>○平成17年度は、資料の提出をいただけておりませんが、再精査した結果、前年度と同じ判断とさせていただきます。</p> <p>○本品目については、統合品目「ガラスカレット骨材を用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p> <p>○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので、予めご了承ください。</p>
下水汚泥焼却灰を用いたコンクリート製品	下水汚泥焼却灰を用いたコンクリート二次製品	下水汚泥の焼却灰を混入させたコンクリート二次製品	コンクリート二次製品の原材料の一部として汚泥焼却灰を使用する。そのことにより、使用した量だけの新材の使用量が削減できる。	インターロッキングブロック	③② (①)	<p>○本品目については、統合品目「下水汚泥焼却灰を用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート製品	下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート二次製品	基礎ブロックは、主にガードレール・防護柵・フェンス・安全施設等の柱の基礎に使用される。歩車道境界ブロックは、主として道路の境界として用いる。	下水汚泥溶融スラグを天然の骨材の代替えとしてコンクリート製品に使用することにより、汚泥の埋め立て処分量の削減と、新材（砕石等）の使用量の削減が可能である。	歩車道境界ブロック	③② (①)	<p>○本品目については、統合品目「下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p> <p>○なお、舗装用ブロックについては、「再生材料を用いた舗装用ブロック類（プレキャスト無筋コンクリート製品）」として、平成17年度特定調達品目に指定されております。</p>

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
高炉スラグ微粉末を用いたコンクリート製品	自己充てん性コンクリート製品	高流動コンクリートの自己充てん性能による、低騒音・低振動で成形したコンクリート製品	混和材料として高炉スラグ微粉末を使用した高流動コンクリートは、コンクリートに自己充てん機能が生まれ、コンクリートの締め固め工程のための振動機の使用が簡素化され振動騒音が低減する。また、使用セメント量の低減が図れる事と併せ、環境負荷の低減が図れる。	一般のコンクリート製品	④② (①)	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりませんが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「高炉スラグ微粉末を用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・全国の工場に対する普及率が低いため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
高炉スラグ微粉末を用いたコンクリート製品	3H-CRETE	3H-CRETEは、コンクリート構造物の耐久性問題・環境負荷軽減という要求性能を満足するために開発したプレキャストPC製品用の高流動コンクリートである。3つの「H」は、～High early strength(早強性)、High strength(高強度)、High flowing(高流動)を意味しており、従来の早強性高強度コンクリートと同等以上の早強性と高強度を発現し、流動性の向上による施工性向上と、使用材料および製造方法の改善によって、製品製造時のCO2排出量低減を図っている。	従来コンクリートにおける結合材（早強ポルトランドセメント）の一部を、高炉スラグ微粉末に置換することによりセメント使用量が減少する。これにより、セメントの原材料である石灰石の使用量を低減するとともに、セメント焼成時の二酸化炭素排出量も低減される。	普通コンクリート（早強ポルトランドセメント使用）	④② (①)	○本品目については、統合品目「高炉スラグ微粉末を用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・全国の工場に対する普及率が低いため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート製品	再生材使用ブロック	一般廃棄物や下水汚泥等を溶融炉で処理する際に副産物として生成される溶融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した骨材を使用したコンクリートブロック	溶融スラグを原料として有効に活用し骨材として利用することによりごみや下水汚泥の最終処分量を削減できるとともに、天然資源の消費量を抑制できる。	天然砂（海砂、山砂）、天然砂利、砕砂又は砕石を使用したコンクリートブロック	③② (①)	【下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート製品の場合】 ○本品目については、統合品目「下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、舗装用ブロックについては、「再生材料を用いた舗装用ブロック類（プレキャスト無筋コンクリート製品）」として、平成17年度特定調達品目に指定されております。
都市ごみ溶融スラグ骨材を用いたコンクリート製品	再生材使用ブロック	一般廃棄物や下水汚泥等を溶融炉で処理する際に副産物として生成される溶融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した骨材を使用したコンクリートブロック	溶融スラグを原料として有効に活用し骨材として利用することによりごみや下水汚泥の最終処分量を削減できるとともに、天然資源の消費量を抑制できる。	天然砂（海砂、山砂）、天然砂利、砕砂又は砕石を使用したコンクリートブロック	③② (①)	【都市ごみ溶融スラグ骨材を用いたコンクリート製品の場合】 ○本品目については、統合品目「都市ごみ溶融スラグ骨材を用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、舗装用ブロックについては、「再生材料を用いた舗装用ブロック類（プレキャスト無筋コンクリート製品）」として、平成17年度特定調達品目に指定されております。
石炭灰焼成軽量骨材	高強度（フライアッシュ）人工骨材	フライアッシュを主原料（70%以上）とし、副原料を添加して混合、成形（造粒）、焼成して得られる高強度人工骨材である。高強度・軽量・低吸水という特徴を有しており、橋梁分野への適用が有望である。	フライアッシュの埋立て処理などの廃棄物処分量を削減でき、また、天然骨材資源採取量の低減にも貢献することができる。	天然骨材（砕石）、（既存）人工軽量骨材	④②①	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりませんが、再精査した結果、昨年度とは異なる判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「石炭灰焼成軽量骨材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきます ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
都市ごみ溶融スラグを用いたコンクリート骨材		都市ごみを溶融処理する際に発生する溶融スラグを道路用アスファルト混合物の骨材の一部として使用した製品であり、通常の道路用アスファルト混合物と同等に使用できる。従来より道路用アスファルト混合物に鉄鋼スラグを利用しており、昭和50年代からはJIS化やアスファルト舗装要綱にも織り込まれている。ごみ溶融スラグをアスファルト混合物の骨材として有効利用する取組みは平成7年より岩手県釜石市、日本舗道、新日本製鐵との共同研究により、数箇所の試験施工および追跡調査を経て平成10年度より実用化に至っている。	溶融処理により都市ごみから発生する溶融スラグの有効利用を促進することで、最終処分場の大幅な削減を実現できる。	天然の骨材で製造したアスファルト混合物	③ (①)	【都市ごみ溶融スラグを用いたコンクリート骨材の場合】 ○本品目については、統合品目「都市ごみ溶融スラグを用いたコンクリート骨材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物		都市ごみを溶融処理する際に発生する溶融スラグを道路用アスファルト混合物の骨材の一部として使用した製品であり、通常の道路用アスファルト混合物と同等に使用できる。従来より道路用アスファルト混合物に鉄鋼スラグを利用しており、昭和50年代からはJIS化やアスファルト舗装要綱にも織り込まれている。ごみ溶融スラグをアスファルト混合物の骨材として有効利用する取組みは平成7年より岩手県釜石市、日本舗道、新日本製鐵との共同研究により、数箇所の試験施工および追跡調査を経て平成10年度より実用化に至っている。	溶融処理により都市ごみから発生する溶融スラグの有効利用を促進することで、最終処分場の大幅な削減を実現できる。	天然の骨材で製造したアスファルト混合物	③② (①)	【都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物の場合】 ○本品目については、統合品目「都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
フライアッシュを用いたコンクリート骨材	コンクリート用フライアッシュ	コンクリートの用途やコストに応じて、JIS A 6201のI種、II種、IV種フライアッシュを選定し、セメント代替や細骨材補充混和材として使用することにより、コンクリートの品質向上や施工性の改善などを図るものである。	石炭火力発電所において発電の際に副産物として生成するフライアッシュを品質改良材（セメント代替や細骨材補充）として有効に利用することでフライアッシュの最終処分量の削減と、天然骨材の採掘量を削減できる。	・普通ポルトランドセメント ・天然砂（海砂、山砂）、砕砂	③② (①)	【フライアッシュを用いたコンクリート骨材の場合】 ○本品目については、統合品目「フライアッシュを用いたコンクリート骨材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
廃タイヤカーボンを用いたコンクリート用混和材	廃タイヤリサイクルコンクリート添加剤（廃タイヤカーボン）	使用済みタイヤを発電用燃料として使用し、その焼却残渣から回収された微粉カーボンをコンクリート添加剤として利用する。	使用済みタイヤの焼却残渣まで全て資源リサイクル出来ることにより、最終処分地等の負荷低減、また不法投棄等の減少につながる。更に、コンクリート構造物に使用した場合岩色系の着色が出来る為、自然景観上環境に配慮出来る。	コンクリート着色添加剤（黒色）	④ (①)	○本品目については、統合品目「廃タイヤカーボンを用いたコンクリート用混和材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○調達1単位あたりの低減効果が小さく、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
生分解性プラスチックを用いたドレーン材	生分解性プラスチックボードドレーン材	植物を原料とした生分解性プラスチックにより、圧密終了後に生分解し無害化する地盤改良工事用のドレーン材である。本品目は、芯材・フィルターともに天然のでんぷん（飼料用とうもろこしでんぷん）や糖類などの植物を原料として作られたポリ乳酸樹脂であり、施工後は土中の微生物のはたらきによって生分解され無害化し、圧密沈下完了後は自然に還る素材である。ドレーン材としての要求性能である施工性、透水性および引張強度などはこれまでの化学繊維系のもとと全く変わらない。	植物由来の資源素材を使用することにより、①化学繊維系を用いないため化石燃料の消費を抑えられ、②地中微生物による生分解により無害化することで環境に配慮でき、③その後の地下掘削工事の障害がなくなる。	（化学繊維系）プラスチックボードドレーン材	③② (①)	○本品目については、統合品目「生分解性プラスチックを用いたドレーン材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
天然繊維を用いたドレーン材	天然繊維を用いたドレーン材	軟弱地盤の圧密沈下促進工法である鉛直ドレーン工法において、軟弱地盤中に鉛直に打設し、軟弱地盤中の水分の排水を促進するドレーン材に天然繊維製（黄麻の織物とヤシの葉の殻の外皮繊維を燃ったヤシロープ）の材料を用いるものである。近年ではサンドマット（地上水平排水砂材）の代替品として水平天然繊維ドレーンが使用されている。	鉛直（水平）ドレーン材としては、一般的に砂材あるいは石油化学製品であるプラスチック製の材料が使用されている。本材料は天然繊維製であり、環境面のメリットとして以下の事項があげられる。 ①材料は1年生の黄麻とヤシの葉の殻の外皮繊維を利用しており、森林の伐採等とは無関係で、原料採取による資源の枯渇や自然破壊とは無縁である。②地中に打設されたドレーン材は、バクテリアによって腐食して土と同化する親環境型の特性がある。	①砂材を用いたドレーン（サンドドレーン、バックドレーン） ②プラスチック（化学繊維）ドレーン	③②（①）	○本品目については、統合品目「天然繊維を用いたドレーン材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
廃木材発酵緑化基盤材	ハーモニーソイル ハーモニーパーク	法面緑化材は多種多様な生産され使用されているが、家屋解体工事から出る木質廃材を再生処理施設に搬入し、人力分別・1次破碎・2次破碎・磁選機2台、ふるい機を経て選別したものを醗酵させ、法面緑化基盤材にリサイクル化する。木質のリサイクル施設であれば選別、品質の確認をおこなえば、全国どこでも可能、価格的にも安く出来る。特徴：解体廃木材使用 使用方法：緑化基盤材園芸用施肥として使用	建設副産物の中でもリサイクル率の低い木質廃材を利用することにより、リサイクル率が高まり、廃材の最終処分量が削減出来る。中期的に二酸化炭素を固定し温暖化防止に繋がる。	キャトルバン、イビコンボ、タンゴソイル等	④③②（①）	○本品目については、統合品目「廃木材発酵緑化基盤材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ・廃材中に有害化学物質が含まれることが多いため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
廃木材炭化緑化基盤材	炭パワーソイル	産業廃棄物である建設廃材・間伐材等をチップ化し、700～750℃にて炭化。水にて簡易賦活した高多孔質の炭をパーク堆肥、ピートモス、牛糞堆肥と混合し、緑化基盤材として使用する。	木屑等を焼却処分せず炭化処理する事により、炭1tに対しCO2 3.48tの削減及び最終処分場への持込みがゼロとなる。また、炭を緑化基盤材に混入することにより木屑使用量の増大がはかれる。法面緑化する事により緑の再生を行う。	パーク堆肥	④③②（①）	○本品目については、統合品目「廃木材炭化緑化基盤材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ・廃材中に有害化学物質が含まれることが多いため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
再生材料を用いた型枠	再生型枠用ボード（NFボード）	コンクリート型枠用合板の代替品で、プラスチック製ボード。寸法は1800×600×12 一種のみ。 ノコギリでの切断、ドリルでの穴あけができ、釘が使えなど、合板同様の取り扱いで利用できる。 主原料は容器包装リサイクル法に基づき、自治体が一般家庭から分別回収した、使用済みプラスチックであり、マテリアルリサイクル製品。 使用済みNFボードの最終処分は製鉄原料の還元材として、ケミカルリサイクルされる。 耐久性抜群で転用回数が大幅に伸び、トータルコストの削減が可能である。	熱帯雨林保護・建設廃木材の削減・化石資源（石炭）の節約・CO2の削減・埋め立て処分ゴミの削減を実現	コンクリート型枠用塗装合板	④②（①）	○本品目については、統合品目「再生材料を用いた型枠」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○短期的普及見込みが少なく、環境負荷低減効果が現場条件に大きく左右されると判断されるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ・転用回数、回収方法、再リサイクルについて十分な検討がなされていないため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ・通常品と同等の施工性が十分に確保される保証がない ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統成品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
再生材料を用いた型枠	再生材混入型枠（NFボード）	コンクリート型枠用合板の代替品で、プラスチック製ボード。寸法は1800×600×12 一種のみ。ノコギリでの切断、ドリルでの穴あけができ、釘が使えるなど、合板同様の取り扱いで利用できる。 主原料は容器包装リサイクル法に基づき、自治体が一般家庭から分別回収した、使用済みプラスチックであり、マテリアルリサイクル製品。 使用済みNFボードの最終処分は製鉄原料の還元材として、ケミカルリサイクルされる。 耐久性抜群で転用回数が大幅に伸び、トータルコストの削減が可能である。	熱帯雨林保護・建設廃木材の削減・化石資源（石炭）の節約・CO2の削減・埋め立て処分ゴミの削減を実現。	型枠用合板	④② (①)	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度とは異なる判断とさせていただきます。 ○本品目については、統成品目「再生材料を用いた型枠」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○短期的普及見込みが少なく、環境負荷低減効果が現場条件に大きく左右されると判断されるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・転用回数、回収方法、再リサイクルについて十分な検討がなされていないため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・通常品と同等の施工性が十分に確保される保証がない ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
再生材料を用いた型枠	パルプモールド製化粧型枠	ダンボール古紙を主原料としパルプモールド製法にて製造された化粧型枠。製造工程に高温プレス、ワックス含浸を加えることで製品の硬さと脱型のよさを実現。現在主流である発泡ポリスチレン製化粧型枠と同様の使用方法である。廃棄時は焼却処分、或いは低カロリー燃料用の原料として使用され、サーマルリサイクルされる。	主原料が古紙であり環境に与える影響は少ない。脱型時に細かく砕けることがなく一体で脱型されるので周辺環境への影響が少ない。製品を重ねられることから梱包がコンパクトになり輸送負荷が少ない。	発泡ポリスチレン製化粧型枠	④② (①)	○本品目については、統成品目「再生材料を用いた型枠」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○短期的普及見込みが少なく、環境負荷低減効果が現場条件に大きく左右されると判断されるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・転用回数、回収方法、再リサイクルについて十分な検討がなされていないため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・通常品と同等の施工性が十分に確保される保証がない ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
再生材料を用いた型枠	マムエコボードNを使ったコンクリート型枠工法	再生古紙（堰板構造に100%のダンボール古紙にて構成）を用いた型枠材。水、火に強く、構造、強度、耐力を有しないという紙の概念から、コンクリート型枠工法の確立を主に製品開発をおこなったもの。使用後は3R製品として、回収、原材料化、再製品化の可能な製品であり、日本大昭和板紙㈱の実績のある製造方法にて大気汚染物質、有害化学物質、土壌汚染物質を含有していない。	従来使用されている木製合板製造の為に森林破壊の抑制と使用後に焼却される木製合板のCO2排出量の抑制、ダンボール古紙の原料化にて製造、使用後ボードはリサイクルされ当製品の原料となる完全循環型資材であり、使用時に使われる剥離剤による土壌汚染、水質汚染に著しい効果がある。又、有害化学物質を含まない為、コンクリート打設時に型枠仮設材から流れ出る危険性が無い為、シックハウス症候群等にも有効である。	片面加工合板を含んだ木製型枠合板、化学合成製品型枠、鋼製型枠	④② (①)	○本品目については、統成品目「再生材料を用いた型枠」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○短期的普及見込みが少なく、環境負荷低減効果が現場条件に大きく左右されると判断されるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・転用回数、回収方法、再リサイクルについて十分な検討がなされていないため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・通常品と同等の施工性が十分に確保される保証がない ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
再生材料を用いた型枠	再生材料を使用した樹脂型枠工法	熱帯雨林の乱開発による自然生態系の破壊、二酸化炭素の増加による地球温暖化、資源の有効利用という点から合板型枠に代わる樹脂製の型枠。	30回程度の転用回数により、発生する合板の産業廃棄物を10分の1以下に低減。更に使用済みパネルは製造原料として再生し産業廃棄物を削減する。止むを得ず産業廃棄物として処分する場合も、有害な溶出物の発生・及び焼却時のダイオキシンが無く、埋め立て処理の他、焼却も可能である。	合板型枠	④② (①)	○本品目については、統成品目「再生材料を用いた型枠」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○短期的普及見込みが少なく、環境負荷低減効果が現場条件に大きく左右されると判断されるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・転用回数、回収方法、再リサイクルについて十分な検討がなされていないため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・通常品と同等の施工性が十分に確保される保証がない ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
廃木材を用いた公園資材	ベンチ(合成木材製)	・座面に人工木材「オレンジウッドE」を採用したベンチ。・「オレンジウッドE」は廃プラスチック(60wt%)と廃木粉(20wt%)を主原料に成形した弊社のオリジナル素材であり、エコマーク認定素材でもある。	・当該製品を利用した場合、従来では廃棄されることが多かったコンテナなどの廃プラスチックおよび廃木粉が、製品として大量に生まれ変わることが出来る。 ・また天然木製ベンチは屋外の厳しい環境では数年で劣化し、補修あるいは取替が必要になってくるが、当該製品は10年以上十分に使用できるので、木材伐採の保護にも役立つ。	天然木材製ベンチ	④③(①)	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「廃木材を用いた公園資材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○マーケットが小さく期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
廃木材を用いた公園資材	木材・プラスチック再生複合材	本提案の木材・プラスチック再生複合材は、建築解体工事等から発生する廃木材とリサイクルプラスチックを微粉砕し、加熱融解混練後に成型加工し、更に成型品の表面に意匠性を付与するために表面処理をした建築資材製品の総称である。本提案資材製品の原材料は、廃木材が55%、リサイクルプラスチックが45%で構成され、それらは全て再生資源(100%リサイクル原料)であり、マテリアルリサイクルを実現した製品である。更に、使用した後に回収し、	本資材製品は、その原料が木質系材料、プラスチック材料共に100%リサイクル材であること、更に使用後は、焼却することなく再び原料として使用できる多回リサイクル性を持つこと、健康を害する物質が溶出しないこと等の特長を持つので資源保護、環境汚染防止、安全確保等を実現でき、ライフサイクル全体にわたる環境負荷低減効果が期待できる。	バージンプラスチック製建築資材	④③(①)	○本品目については、統合品目「廃木材を用いた公園資材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○マーケットが小さく期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
天然材料を用いた植生マット・シート	間伐材などの低位利用木材を用いた植生マット・シート	近年、地球温暖化問題、適切な水の循環等森林の役割が見直されるようになった。森林の役割を十分発揮するためには間伐は欠かせないが、林業生産活動が停滞し、適切な間伐がされていない森林が増加している。森林の公益的機能を発揮させるためにも、間伐材を有効に活用することによって、間伐を推進することが緊急の課題となっている。本提案品目は上述の課題に対し、間伐材を植生マット・シートに有効活用することにより、森林を守り、かつ法面の緑化保護を可能にしたものである。	森林を間伐する際に発生する間伐材を有効に利用して植生マット・シートへ添加することにより、間伐の促進、森林保全、未利用バイオマスの活用促進に貢献できる。	非再生プラスチックを用いた植生マット・シート	④③②(①)	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「天然材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
リサイクル材料を用いた植生マット・シート	リサイクル材料を用いた植生マット・シート・ネット・土壌	近年、環境問題がクローズアップされるに連れて、リサイクルの重要性が浸透しつつある。有限資源を再生利用することで資源の枯渇を防ぐことが可能となるが、本提案品目が属する分野においては、未だにヴァージン素材を用いた製品が多く流通しているのが現状である。本提案品目は上述の課題に対し、製品を構成する材料に古紙や再生プラスチックなどを用いて、リサイクル材料を植生マット・シート・ネット・土壌に有効活用することにより、限られた資源を有効活用すると共に法面の緑化保護を可能にしたものである。	再生材料を主用構成材料とし、植生マット・シート・ネット・土壌などの緑化資材として活用することにより、限りある資源の濫用を防ぐと共に、資源有効活用に貢献できる。	非再生プラスチックを用いた植生マット・シート・ネット・土壌	④③②(①)	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「リサイクル材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
天然材料を用いた植生マット・シート	腐食性材料を用いた植生マット・シート ＜弊社対応商品名＞：グリーンフォーマット、ハリガカガル21、張りカット、パバル、ハリガ21など	構成材料全てが腐食性材料（天然素材や生分解性プラスチックなど）を使用した植生マット・シートである。	施工後一定期間経過すると腐食することで、施工箇所周辺に人工物を残さないため生態系が保全でき、また、施工地を再開発する際に現地発生土を土砂として処理できるため、産業廃棄物の発生を抑ええることが出来る。	非分解性材料（ポリエチレンなど）を用いた植生マット、植生シート、植生ネット、植生土のう	④③② ①	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりませんが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「天然材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
天然材料を用いた植生マット・シート	ワラ付き人工張芝（分解型） 〔当社対応商品 ロンケットデアグリーン〕	種子・肥料を装着した紙に、リサイクル資材であるワラコモを重ねた緑化資材。巾1mのロール状で、法肩から法尻に転がして展開し、ピンで留めて施工する。施工後、種子・肥料が地面に落ちて発芽し、法面を緑化する。ワラコモは被覆材として非常に有効で、浸食防止効果、保温効果、保水効果を持ち、植物の発芽・生育を保護する。	通常の植生資材として、種子肥料を装着した紙にポリエチレン製のネットを重ねたものが使用されるが、天然資材であるワラを使用するほうが、製造エネルギーが小さく環境に対する負荷が小さい。また提案品目は微生物によって分解され、土に還るので残存しない。	植生シート	④③② ①	【天然材料を用いた植生マット・シートの場合】 ○本品目については、統合品目「天然材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
生分解性植生マット・シート	ワラ付き人工張芝（分解型） 〔当社対応商品 ロンケットデアグリーン〕	種子・肥料を装着した紙に、リサイクル資材であるワラコモを重ねた緑化資材。巾1mのロール状で、法肩から法尻に転がして展開し、ピンで留めて施工する。施工後、種子・肥料が地面に落ちて発芽し、法面を緑化する。ワラコモは被覆材として非常に有効で、浸食防止効果、保温効果、保水効果を持ち、植物の発芽・生育を保護する。	通常の植生資材として、種子肥料を装着した紙にポリエチレン製のネットを重ねたものが使用されるが、天然資材であるワラを使用するほうが、製造エネルギーが小さく環境に対する負荷が小さい。また提案品目は微生物によって分解され、土に還るので残存しない。	植生シート	④③② ①	【生分解性植生マット・シートの場合】 ○本品目については、統合品目「生分解性植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
生分解性植生マット・シート	ワラ付人工張芝 〔当社対応品 ロンケットワラ28〕	種子・肥料を装着した紙に、リサイクル資材であるワラコモを重ねた緑化資材。巾1mのロール状で、法肩から法尻に転がして展開し、ピンで留めて施工する。施工後、種子・肥料が地面に落ちて発芽し、法面を緑化する。ワラコモは被覆材として非常に有効で、浸食防止効果、保温効果、保水効果を持ち、植物の発芽・生育を保護する。	通常の植生資材として、種子肥料を装着した紙にポリエチレン製のネットを重ねたものが使用されるが、天然資材であるワラを使用するほうが、製造エネルギーが小さく環境に対する負荷が小さい。またワラコモ部分は分解し、土に還るのでネット製品と比べ製品の残存率が小さい。	植生シート	④③② ①	【生分解性植生マット・シートの場合】 ○本品目については、統合品目「生分解性植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
天然材料を用いた植生マット・シート	ワラ付人工張芝 〔当社対応品 ロンケットワラ28〕	種子・肥料を装着した紙に、リサイクル資材であるワラコモを重ねた緑化資材。巾1mのロール状で、法肩から法尻に転がして展開し、ピンで留めて施工する。施工後、種子・肥料が地面に落ちて発芽し、法面を緑化する。ワラコモは被覆材として非常に有効で、浸食防止効果、保温効果、保水効果を持ち、植物の発芽・生育を保護する。	通常の植生資材として、種子肥料を装着した紙にポリエチレン製のネットを重ねたものが使用されるが、天然資材であるワラを使用するほうが、製造エネルギーが小さく環境に対する負荷が小さい。またワラコモ部分は分解し、土に還るのでネット製品と比べ製品の残存率が小さい。	植生シート	④③② ①	【天然材料を用いた植生マット・シートの場合】 ○本品目については、統合品目「天然材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
生分解性植生マット・シート	ワラ付植生シート（完全自然分解型） 〔当社対応製品 ロンケットオーガ〕	種子・肥料を装着した紙に、リサイクル資材であるワラコモ、ジュートネットを重ねた緑化資材。巾1mのロール状で、法肩から法尻に転がして展開し、ピンで留めて施工する。施工後、種子・肥料が地面に落ちて発芽し、法面を緑化する。ワラコモは被覆材として非常に有効で、浸食防止効果、保温効果、保水効果を持ち、植物の発芽・生育を保護する。	通常の植生シートは、種子肥料を装着した紙にプラスチック製のネットを重ねたものが使用されるが、天然資材であるワラやジュートを使用するほうが、製造エネルギーが小さく環境に対する負荷が小さい。	生分解性プラスチックネット利用の植生シート	④③② ①	【生分解性植生マット・シートの場合】 ○本品目については、統合品目「生分解性植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
天然材料を用いた植生マット・シート	ワラ付植生シート（完全自然分解型） 〔当社対応製品 ロンケットオーガ〕	種子・肥料を装着した紙に、リサイクル資材であるワラコモ、ジュートネットを重ねた緑化資材。巾1mのロール状で、法肩から法尻に転がして展開し、ピンで留めて施工する。施工後、種子・肥料が地面に落ちて発芽し、法面を緑化する。ワラコモは被覆材として非常に有効で、浸食防止効果、保温効果、保水効果を持ち、植物の発芽・生育を保護する。	通常の植生シートは、種子肥料を装着した紙にプラスチック製のネットを重ねたものが使用されるが、天然資材であるワラやジュートを使用するほうが、製造エネルギーが小さく環境に対する負荷が小さい。	生分解性プラスチックネット利用の植生シート	④③② ①	【天然材料を用いた植生マット・シートの場合】 ○本品目については、統合品目「天然材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
下水汚泥焼却灰を用いた軽量土工材料	人工軽量骨材	主原料の膨張性頁岩に産業廃棄物（汚泥、燃え殻）を混合し、造粒後1,150℃で焼成・発泡させたリサイクル型人工軽量骨材。各種サイズがあり、覆蓋の上部利用においては排水層、土壌改良材、マルチング材、管理道路の路床に利用できる。また、締め固め性も良好なので擁壁の裏込め、軽量盛土材にも適している。	混入した産業廃棄物は全量人工軽量骨材化する為、廃棄物の再生利用が図れる。逼迫した埋立て処分場の寿命の延長に寄与。	パーライト	② ①	○本品目については、統合品目「下水汚泥焼却灰を用いた軽量土工材料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
石炭灰気泡混合軽量土	石炭灰を使用した気泡混合軽量土	石炭火力発電所から発生するフライアッシュを土圧軽減や盛土荷重低減を目的とした道路擁壁、橋台背面、急傾斜地盛土などの構造物や、狭小部の充填材として使用するものである。	石炭火力発電所において発電の際に副産物として生成するフライアッシュを材料として有効に利用し、気泡混合軽量土の原材料として使用することにより、フライアッシュの最終処分量の削減と、天然土の採掘量を削減できる。	天然砂（海砂、山砂）、砕砂	②①	○本品目については、統合品目「石炭灰気泡混合軽量土」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
石灰灰を用いた地盤材料	石灰灰を利用した地盤材料	石灰火力発電所で副産される石灰灰に水とセメントなどを特殊混合装置を用いて混合・製造することにより、通常の土質材料に対して軽量かつ同等の強度・物理特性および施工性を有し、盛土、構造物の裏込めや埋戻し、河川築堤、土地造成、路床・路盤などの用途に使用するものである。	石灰火力発電所において発電の際に副産物として生成する石灰灰（フライアッシュ）を材料として有効に利用し、人工地盤材料の原料材として使用することにより、石灰灰の最終処分量の削減と、天然材料の採掘量を削減できる。	天然土、天然砂（海砂、山砂）、砕砂	② (①)	○本品目については、統合品目「石灰灰を用いた地盤材料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
廃木材を用いた土壌改良材	グラウンド土壌改良材	スギ材生産の盛んな宮崎県に於きまして、林産業の廃棄物となっている樹皮の処理は、環境面、経済性の面からもマイナス効果となっています。本製品は、地域特有に発生する産業廃棄物を、建設業を核にして、リサイクル開発した資材であり、ゼロエミッション、森林保全、自然還元に貢献します。樹皮を特殊加工し、法面の緑化基盤材やグラウンドの土壌改良材に活用できる製品です。	・林産廃棄物、畜産廃棄物の合理的なりサイクルシステム・森林育成効果（林業者の負担軽減・緑化環境創造）・地球環境保護（水質汚濁防止、生態系の維持）・生活環境対策（グラウンド埃の抑制）	緑色スクリーニングス	④③② (①)	○本品目については、統合品目「廃木材を用いた土壌改良材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○マーケットが小さく期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
ペーパーズラッジを用いた土質改良材	FTマッドキラー工法	製紙工場から排出されるペーパーズラッジ灰を再焼成、混合（混和材）、造粒、粒度調整、乾燥等の処理を施すことで製造した泥土改良材を用いて、軟弱な建設発生土（泥土）を瞬時に改良し、建設工事への転用を可能とする工法である。本工法の特徴は、以下のとおりである。 1) 吸水効果を主体とする改良である。 2) 養生時間なしに、瞬時に泥土を改良させ、改良土を建設工事に転用させることができる。 3) 粘性土、砂質土、腐植土等すべての土質に対応可能である。 4) 改良土は、中性域であり、周辺の生態系（動、植物）にやさしい改良である。 5) 改良土は、繰り返し利用できる。 6) 第4種の改良状態（qc=200KN/m ² ）からそれ以上の強度を発揮させる場合、少ない追加でこれを達成することができる。 7) 改良に際しては専用攪拌装置があるがバックホー攪拌でも対応できる（セメント系固化と比較して攪拌ムラが少ない）	製紙製造工程で副産物として副生するペーパーズラッジ（PS）灰を軟弱建設発生土の改良材として製品化させ、建設発生土（泥土）の改良土についても建設工事への転用を促進させることで、両者の資源化率を同時に高めることが可能となる（産業間をまたがるゼロエミッションの推進）。周辺生態系にも悪影響を与えることなく、環境負荷低減に寄与できる改良工法である。	セメント系改良工法、石灰系改良工法、高分子系改良工法	④②①	○本品目については、統合品目「ペーパーズラッジを用いた土質改良材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○マーケットが小さく期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました
ペーパーズラッジを用いた土質改良材	土質改良用、埋め戻し用、敷き固め用の改良材	池、湖沼、河川、建設現場等から排出される泥土、軟弱土、残土の有効活用を目指し、また世界的リサイクルプランのなかでの建設残土、汚泥、湖沼、ダム汚泥の有効利用することにより、良質なつちにかえし、処分場の節約、寿命をのばせることができます。またこの本製品の成分は製紙スラッジ焼却灰と石灰灰、リサイクル石膏等が主成分であり、この本製品そのものがリサイクル製品であります。	製品そのものが環境に適した固化材であると同時に他の固化材で固めた土は一般的に産業廃棄物となり各地のうめた処分場を逼迫すところを当社の製品を使用することで多少なりとも軽減させていただけるものと思います。	セメント系固化材	④②①	○本品目については、統合品目「ペーパーズラッジを用いた土質改良材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○マーケットが小さく期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
ペーパーズラッジを用いた土質改良材	マッドクリン	ペーパーズラッジ（製紙焼却灰）を利用した固化剤を土砂に混合攪拌することにより、水和反応およびボゾラン反応が発生し、エトリンガイトが生成されます。これより建設汚泥等の不良土を透水性に優れた泥濘しない良質土に変換することができ、転圧することにより地盤に強度を与えることもできます。また、環境や人体に対して有害な物質は一切含まれていませんので、環境負荷を増大させることもありません。	従来産業廃棄物として処分されていた製紙焼却灰（ペーパーズラッジ）を利用しているため、処分場の温存に繋がります。さらに、有害物質を一切含まず、植栽も可能なため改良土の使用用途を選びません。	セメント系固化剤、石灰系固化剤。	④②①	○本品目については、統合品目「ペーパーズラッジを用いた土質改良材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○マーケットが小さく期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。
有害金属を含有しない水性塗料	有害重金属を配合しない一般防食水性塗料（提案No. T-3）	合成樹脂を水溶性化又は乳化させた水性塗料で、有害重金属を含有する顔料を配合していない。用途は鉄鋼構造物の一般防食用。	一般防食用の水性塗料で有害重金属を含む顔料を配合せず、揮発性有機化合物（VOC）を低くすることにより人体への健康影響や、大気汚染を低減できる。	油性、アルキド樹脂系及び止め塗料	③②（①）	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「有害金属を含有しない水性塗料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ・耐久性（防食性）が明らかにならず、現場施工性についての検証もなされていないため ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難になる場合がありますので予めご了承ください。
有害金属を含有しない錆安定化処理塗料	有機金属及び安定化処理用塗料	提案する有機金属及び安定化処理用塗料は有害な重金属（鉛、亜鉛、クロムなど）を一切含まず、環境に負荷を与えない伝導性ポリマーを主成分とし、溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材（SMA材）及び、耐候性鋼材（SPA材）の金属表面に作用し、早期に酸化被膜（安定さび）の確実な形成を促進させ、耐候性鋼材の耐食性を高めるさび安定化処理用塗料である。	有害物質である重金属（鉛、亜鉛、クロムなど）をいっさい含んでいないため経年変化で周辺への流出による土壌汚染や水質汚染が無く、従来の下塗り塗料に比べ薄塗り（約三分の一）で原料及びシンナー等の使用量が50%以上削減できるとともに塗替え年数が延び、さらに原料及びシンナー等が削減でき、省資源化、CO2の削減による地球温暖化防止に貢献できる。	従来さび安定化処理用塗料	③②（①）	○本品目については、統合品目「有害金属を含有しない錆安定化処理塗料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
有害金属を含有しない重防食下塗り水性塗料	有害重金属を配合しない重防食下塗り水性塗料。（提案No. T-4）	無公害防錆顔料を使用した環境配慮形塗装システム	希釈用溶剤に水を使用しているため、有機溶剤が少ない 有害金属を配合していないため、環境に悪影響が少ない	エポキシ樹脂系塗料（VOC約4.0%）	③②（①）	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「有害金属を含有しない重防食下塗り水性塗料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承ください。

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統成品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
有害金属を含有しない重防食下塗塗料	重防食さび止め用下塗り塗料（有機金属不動態化塗料）	提案する重防食さび止め用下塗り塗料（有機金属不動態化塗料）は有害な重金属（鉛、亜鉛、クロムなど）を一切含まず、有害重金属の流出による人体への悪影響や周辺環境の土壌汚染や水質汚染を引き起こさない。またあらゆる金属表面に作用し、その表面電位を貴金属レベルに移行させ防食する。また金属表面に不動態化層を形成させることにより防錆特性を高め、施設の持続性を大幅に延長させるさび止め塗料。	有害物質である重金属（鉛、亜鉛、クロムなど）をいっさい含んでいないため経年変化で周辺への流出による土壌汚染や水質汚染が無く、従来の下塗り塗料に比べ薄塗り（約三分の一）で原料及びシンナー等の使用量が50%以上削減できるとともに塗替え年数が延び、さらに原料及びシンナー等が削減でき、省資源化、CO2の削減による地球温暖化防止に貢献できる。	防食用下塗り塗料（JISK5552ジソクツアライマー・JISK5623亜鉛化鉛さび止めペイント・JISK5625アミド鉛さび止めペイント・JISK5627ジソクメトさび止めペイント・JISK5629鉛酸カルシウムさび止めペイント	③② (①)	○本品目については、統成品目「有害金属を含有しない重防食下塗塗料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
有害金属を含有しない重防食中上塗水性塗料	有害重金属を配合しない重防食中上塗水性塗料（提案No. T-5）	無公害防錆顔料を使用した環境配慮形塗装システム	希釈用溶剤に水を使用しているため、有機溶剤が少ない 有害金属を配合していないため、環境に悪影響が少ない		③② (①)	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統成品目「有害金属を含有しない重防食中上塗水性塗料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい
建設汚泥削減用添加剤	建設汚泥削減用添加剤	産廃のうち建設業からの排出量は約20%を占め約1000万トンが建設汚泥である。その再利用率は6%、減容化率は8%と低率で86%が処分されている。汚泥は減量化の余地が少なくかつリサイクルも確立しておらず、埋立処分され、需要の逼迫している処分場の容量を消費している。また処分場は地域生活の環境保全から新規立地が困難となってきた。土とセメントを混合する地盤改良工法は広く用いられており、原理的に地盤に注入したセメントスラリー体積に応じた汚泥（産廃）が発生するため、セメントスラリー量を低減する施工技術が強く求められており、本テーマではその排出量の抑制に取組み技術開発を行った。本添加剤は、泥土処理に有効で環境に優しい特殊添加剤による減水化であり、適切な掘削施工方法とのマッチングで、排出土量の低減と品質維持向上の同時達成が可能となった。	当該建設残土削減用添加剤を使用し既往の地盤改良工事を行うことにより、産業廃棄物となる建設汚泥の発生量を削減できる。また掘削時の施工性が向上するため、掘削機械への負荷が低減され、掘削に要するエネルギー（燃料等）の節減に繋がる。	地下連続壁造成工法、ソイルミキシングウォール工法（SMW工法）、シールド工法、既製杭と場所打ち杭の造成工法、埋め戻し工法、高圧噴射攪拌工法	③② (①)	○本品目については、統成品目「建設汚泥削減用添加剤」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
貝殻混入砕石	貝殻混入路盤材	産業廃棄物として排出されるホタテ貝殻は毎年数十万トン排出されており埋立処分されたり、畑地の土壌改良材や暗渠疎水材として利用されているが、貝殻にはスリヘリ強度がないので路盤材などに大量に使われなかった。貝殻特有の破砕性や支持力の低下が問題であったが、天然鉱物資源の砕石類と調合することで破砕率が向上し、CBR値が改善され、また、吸水率も減少し凍上しにくい路盤材の製造技術を確認することができた。合わせてカルシウムの溶出が、天然鉱物資源の砕石類と調合することでCECにより解決することができる。	貝殻から溶脱するカルシウムなどの高塩基分が、陰イオンの硝酸と共に地下水へと溶出している。天然鉱物資源の砂岩などには、陽イオン交換容量CECがありアラゴナイトのような形態で、貝殻の炭酸カルシウムを結晶させ固定させることで二酸化炭素の放出を抑制することができるメリットがある。	コンクリート再生骨材	④③② (①)	○本品目については、統成品目「貝殻混入砕石」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○入手制約があり短期的普及が見込めず、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
再生プラスチックを用いた中央分離帯ブロック	再生樹脂製中央分離帯ブロック	・廃プラスチックからポリエチレンを主として取り出した原料を使う ・上記の原料を90%以上使用する ・必要に応じて脱着できる構造である ・取り外した後再使用が可能である	・再生樹脂を使用するので環境負荷の低減に寄与できる	パーズンプラスチック製中央分離帯ブロック	④ (①)	○本品目については、統合品目「再生プラスチックを用いた中央分離帯ブロック」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○マーケットが小さく期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
自発光LED表示板	ソーラー式視線誘導標『シングル・アイ』『サーモ・アイ』	当該提案品目は、太陽電池と電気二重層コンデンサの組み合わせによりLEDを発光点減させる自発光式の視線誘導標です。蓄電部に大容量でメンテナンスフリーの電気二重層コンデンサを使用するため、設置後の定期的なバッテリー交換が不要で、廃棄物が発生しません。LEDの発光点減効果に加え、樹脂製反射レンズ、又は高輝度反射シートを併用しているため、車両のヘッドライトにも効率的に再帰反射し、ドライバーに道路線形を鮮明に表示します。	クリーンで無尽蔵な太陽光エネルギーを電力源とするため、枯渇の心配がなく、省エネ化を図ることができます。また、太陽電池は電気を発生する際、CO2、騒音、振動、公害物質が発生しません。電気二重層コンデンサは電極材料として活性炭を使用しているため、屋外でも安心して使用でき、土壌や水質への影響がありません。	太陽電池と鉛・ニッカド電池等バッテリー、LEDを使用した自発光式視線誘導標。	④② (①)	○本品目については、統合品目「自発光LED表示板」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○マーケットが小さく期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきましたこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
環境配慮型道路標識板	広角プリズム型反射式道路標識板	道路標識板の反射装置としてガラスビーズ型反射素子を使用しない、高精細プリズムカット加工による反射方法を使用した道路標識板。対象品のカプセルレンズ型反射式道路標識板より反射性能として3倍～6倍の反射性能を有し、比較対象品目より夜間の視認性を向上する機能を持つ。	製造、加工、廃棄時におけるCO2（二酸化炭素）排出量の削減、及び性能の向上による道路標識板のライフサイクルの延命が可能	カプセルレンズ型反射式道路標識板	④①	○本品目については、統合品目「環境配慮型道路標識板」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○調達1単位あたりの低減効果が小さく、期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきましたこととしました
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）	ニューランソフトブロック	下層に廃タイヤを利用したゴムチップを使用し、上層のカラーゴムチップと一体成型した弾性ブロック舗装	廃タイヤを使用するため、廃タイヤの焼却時に発生するCO2などの排出量を抑制できる	弾性ブロック	③ (①)	○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）	ゴムブロック	廃タイヤおよび工程で発生するゴム廃棄物等をゴムチップとし、樹脂バインダー等を用いて固化、成型した弾性を持つ（クッション性を持つ）ゴムブロック	①廃タイヤ、廃ゴムの再利用に伴うゴム廃棄物の最終処分量の削減 ②歩行騒音の低減	コンクリート製ブロック、アスファルト舗装の歩道	③ (①)	○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）	弾性パネル（リサイクル品を原料とした弾性歩径路用パネル）	主に廃タイヤのゴムチップ及び再生プラスチックをベースに構成される歩径路用弾性パネル。	再生原料から構成されるため使用された分、資源の有効利用が図られ、また廃棄物処分量が削減される。	ゴム製舗装材（シート、マット）	③ (①)	○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）	弾性パネル（リサイクル品を原料とした弾性歩径路用パネル）	主に廃タイヤのゴムチップ及び再生プラスチックをベースに構成される歩径路用弾性パネル。	再生原料から構成されるため使用された分、資源の有効利用が図られ、また廃棄物処分量が削減される。	ゴム製舗装材（シート、マット）	③ (①)	○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）	EPSインター	テレビなどの家電製品梱包材や魚箱等の発泡スチロールをリサイクルすることから生まれた、環境に配慮した新しいインターロッキングブロック。発泡スチロールを遠赤外線処理により1/25～1/50に減容固化したものをを用いる。	有害物質は環境基準を満足し、リサイクル材料（廃棄物）を使用することにより環境保全に貢献。EPSインターは通常のインターロッキングブロックと比べて熱伝導係数が低い為夏場の路面ヒートを和らげることができる。	同等品のインターロッキングブロック（通常品）	③（①）	○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）	エコフェニックスインター	産業廃棄物の熔融スラグを60%リサイクルしたインターロッキングブロック。	有害物質は環境基準を満足し、リサイクル材料（廃棄物）を使用することにより環境保全に貢献。	同等品のインターロッキングブロック（通常品）	③（①）	○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）	再生骨材活用舗装材	特徴としては、再生骨材をインターロッキングブロックや舗装用コンクリート平板の基層部分に骨材として使用した舗装材である。原料は、細骨材（再生骨材、天然砂等）、粗骨材（再生骨材、天然砂利等）、セメント、混和剤である。従来のインターロッキングブロックや舗装用コンクリート平板と同じ、即時脱型による常温成型である。使用方法は、主に歩道に舗装材として使用する。廃棄時の扱い方については、再度破碎、分級して再度、再生骨材として活用する事も可能であるが、現在は、自社工場内の2級品、破損品等のみのリサイクルに止まっている。	不要品・廃材を原料として有効に利用し、骨材として活用することにより、最終処分量を削減できる。	天然砂（海砂、山砂）、天然砂利、砕砂または砕石	③（①）	【再生材料として都市ごみ熔融スラグ、下水汚泥熔融スラグ以外の材料を使用した場合】 ○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承ください。
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）	下水汚泥焼却灰活用舗装材	特徴としては、下水汚泥焼却灰をインターロッキングブロックや舗装用コンクリート平板の基層部分に骨材として使用した舗装材である。原料は、細骨材（下水汚泥焼却灰、天然砂等）、粗骨材（天然砂利等）、セメント、混和剤である。従来のインターロッキングブロックや舗装用コンクリート平板と同じ、即時脱型による常温成型である。使用方法は、主に歩道に舗装材として使用する。廃棄時の扱い方については、再度破碎、分級して再度、再生骨材として活用する事も可能であるが、現在は、自社工場内の2級品、破損品等のみのリサイクルに止まっている。	不要品・廃材を原料として有効に利用し、骨材として活用することにより、最終処分量を削減できる。	天然砂（海砂、山砂）、天然砂利、砕砂	③（①）	【下水汚泥を前処理なしで使用した場合】 ○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承ください。
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）		廃棄物の減量化及び資源保護の観点から原料に再生材料を利用したインターロッキングブロック。使用原材料として骨材にごみ熔融スラグ及び下水汚泥熔融スラグを、セメントには普通セメントは勿論のこと、生活ごみを主原料としたエコセメントを用いることもでき、これらにより天然資源の使用量を削減した。	①骨材採取に伴う自然破壊の抑制 ②天然骨材の枯渇抑制 ③最終処分場の延命 ④リサイクル品の有効利用	100%天然材料使用のインターロッキングブロック	③（①）	【再生材料として都市ごみ熔融スラグ、下水汚泥熔融スラグ以外の材料を使用した場合】 ○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）	再生材料活用舗装材	特徴としては、再生材料（熔融スラグ、下水汚泥焼却灰、再生骨材等）をインターロッキングブロックや舗装用コンクリート平板の基層部分に骨材として使用した舗装材である。原料は、細骨材（再生材料、天然砂等）、粗骨材（再生材料、天然砂利等）、セメント、混和剤である。従来のインターロッキングブロックや舗装用コンクリート平板と同じ、即時脱型による常温成型である。使用方法は、主に歩道に舗装材として使用する。廃棄時の扱い方については、再度破碎、分級して再度、再生骨材として活用する事も可能であるが、現在は、自社工場内の2級品、破損品等のみのリサイクルに止まっている。	不要品・廃材を原料として有効に利用し、骨材として活用することにより、最終処分量を削減できる。	天然砂（海砂、山砂）、天然砂利、砕砂または砕石	③(①)	【再生材料として都市ごみ熔融スラグ、下水汚泥熔融スラグ以外の材料を使用した場合】 ○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承ください。
再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）	再生材料利用インターロッキングブロック	廃棄物からなる再生材を従来のバージン原料の一部分に代替利用したインターロッキングブロック。再生材料として都市ごみ熔融スラグ、廃ガラス、の廃棄物を適時選定使用することで、国内外からの自然・天然資源の採取量を削減し、自然破壊の防止に寄与する。また、セメント硬化製品の為、特にCO2の排出増を伴わない省エネルギー製造製品である。	大量の廃棄物をコンクリートの原料として使用できるため、自然・天然の川砂利・山砂、山砂利・山砂、砕石・砕砂など代替量分だけ使用量が削減する。従って 採掘などの自然破壊や廃棄物最終処分場の埋め立て地の延命化に貢献する。循環型社会資材といえる。	天然砂利・天然砂、天然砕石・天然砕砂、等をコンクリート原料として使用したインターロッキングブロック	③(①)	【再生材料として都市ごみ熔融スラグ、下水汚泥熔融スラグ以外の材料を使用した場合】 ○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用ブロック（非焼成）」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承ください。
再生材料を用いた舗装用コンクリート平板	再生材料利用コンクリート平板	【特徴】一般廃棄物や産業廃棄物からなる再生材を従来のバージン原料に換えて利用した舗装用コンクリート平板。【原料】再生材料は都市ごみ熔融スラグ、下水汚泥焼却灰、同熔融スラグ、鉄鋼スラグ、廃ガラス、陶磁器屑、石灰灰、コンクリート塊、石材屑、その他の廃棄物を適時選定使用することで、国内外からの自然・天然資源の採取量を削減し、自然破壊の防止に寄与する。【製造過程】セメント硬化製品（非焼成）の為、特にCO2の排出増を伴わない省エネルギー製造製品である。【使用方法】当提案の舗装用平板は景観性の優れた都市整備型の商品のため、再生廃棄物が公的環境景観製品に生まれ変わることは社会的意義が大きい。【廃棄時の扱い】使用後の廃棄時には従来のコンクリート製品同様に破碎による再生骨材原料としてコンクリート製品に循環使用する。	大量の廃棄物をコンクリートの原料として使用できるため、自然・天然の川砂利・川砂、山砂利・山砂、砕石・砕砂などは代替量分だけ使用量が削減する。従って 採掘などの自然破壊の抑制と廃棄物の最終処分場の埋め立て地の延命化に貢献する。循環型社会に適應した資材といえる。	天然砂利・天然砂、天然砕石・天然砕砂等をコンクリート原料として使用した舗装用コンクリート平板	③①	【再生材料として都市ごみ熔融スラグ、下水汚泥熔融スラグ以外の材料を使用した場合】 ○平成17年度は、資料の提出をいただいておりますが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「再生材料を用いた舗装用コンクリート平板」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○コストが通常品に比べ、著しく高いと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承ください。
スラッジを用いた路盤材	特殊固化剤を用いて再生した骨材、クラッシャーラン	汚泥（無機性汚泥）、燃えがら（石灰灰含む）、ばいじん、鉱さい、コンクリート、ガラスくず及び陶磁器くず類などを特殊固化剤とセメントで固化を行った再生骨材、及び再生クラッシャーラン。	汚泥（無機性汚泥）、燃えがら（石灰灰含む）、ばいじん、鉱さい、コンクリート、ガラスくず及び陶磁器くず類などを骨材、クラッシャーランとして有効利用する為、廃棄物の抑制になる。再生骨材、再生クラッシャーランを使用することにより天然骨材資源の保護につながる。	天然の砕石	④③②(①)	○本品目については、統合品目「スラッジを用いた路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○製造にかかるエネルギーが増大する懸念があると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
都市ごみ熔融スラグ混入路盤材	熔融スラグ路盤材	従来、都市ごみ焼却灰は埋立て処分であったが、その灰を更に1200℃以上で熔融、無害化して熔融スラグとしたものを破砕し砕石状にして骨材化し、路盤材として有効利用する	一般廃棄物の有効処理により最終処分量が削減される	道路用路盤材C-40 または道路用再生路盤材RC-40	③ (①)	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりませんが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「都市ごみ熔融スラグ混入路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
砕石微粉末混入路盤材	水硬性複合路盤材	単粒度砕石や砕砂を湿式で製造する際に副産物として発生する砕石微粉末(脱水ケーキ)を生石灰等で安定処理したものをクラッシュラン又は再生クラッシュランに混合することにより品質の安定を図った路盤材	単粒度砕石や砕砂を湿式で製造する際に副産物として発生する脱水ケーキを原料として有効に利用し路盤材として活用することにより、最終処分量を削減できるとともに、有効利用により砕石用原石の採掘量が減少し、自然環境の保護、エネルギー使用量の削減につながる。	クラッシュラン又は再生クラッシュラン	③② (①)	○平成17年度は、資料の提出をいただいておりませんが、再精査した結果、昨年度と同じ判断とさせていただきます。 ○本品目については、統合品目「砕石微粉末混入路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 ○なお、今後も新たな資料の提出をいただけない場合は、継続的な検討が困難となる場合がありますので予めご了承下さい。
都市ごみ熔融スラグ混入路盤材	熔融スラグ混入路盤材	一般廃棄物や下水汚泥等を熔融炉で処理する際に副産物として生成される熔融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した骨材を使用した路盤材	熔融スラグを原料として有効に活用し骨材として利用することによりごみや下水汚泥の最終処分量を削減できるとともに、天然資源の消費量を抑制できる。	道路用砕石(クラッシュラン、粒調砕石)を使用した路盤材	③ (①)	【都市ごみ熔融スラグ混入路盤材の場合】 ○本品目については、統合品目「都市ごみ熔融スラグ混入路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
下水汚泥熔融スラグ混入路盤材	熔融スラグ混入路盤材	一般廃棄物や下水汚泥等を熔融炉で処理する際に副産物として生成される熔融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した骨材を使用した路盤材	熔融スラグを原料として有効に活用し骨材として利用することによりごみや下水汚泥の最終処分量を削減できるとともに、天然資源の消費量を抑制できる。	道路用砕石(クラッシュラン、粒調砕石)を使用した路盤材	③ (①)	【下水汚泥熔融スラグ混入路盤材の場合】 ○本品目については、統合品目「下水汚泥熔融スラグ混入路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
都市ごみ熔融スラグ混入路盤材	道路用熔融スラグ骨材	一般廃棄物や下水汚泥等を熔融炉で処理する際に副産物として生成される熔融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した道路用骨材	熔融スラグを原料として有効に活用し骨材として利用することによりごみや下水汚泥の最終処分量を削減できるとともに、天然資源の消費量を抑制できる。	天然砂(海砂、山砂)、天然砂利、砕砂又は砕石	③ (①)	【都市ごみ熔融スラグ混入路盤材の場合】 ○本品目については、統合品目「都市ごみ熔融スラグ混入路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
下水汚泥熔融スラグ混入路盤材	道路用熔融スラグ骨材	一般廃棄物や下水汚泥等を熔融炉で処理する際に副産物として生成される熔融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した道路用骨材	熔融スラグを原料として有効に活用し骨材として利用することによりごみや下水汚泥の最終処分量を削減できるとともに、天然資源の消費量を抑制できる。	天然砂(海砂、山砂)、天然砂利、砕砂又は砕石	③ (①)	【下水汚泥熔融スラグ混入路盤材の場合】 ○本品目については、統合品目「下水汚泥熔融スラグ混入路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきます。 ○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただきますこととしました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統成品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物	道路用溶融スラグ骨材	一般廃棄物や下水汚泥等を溶融炉で処理する際に副産物として生成される溶融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した道路用骨材	溶融スラグを原料として有効に活用し骨材として利用することによりごみや下水汚泥の最終処分量を削減できるとともに、天然資源の消費量を抑制できる。	天然砂（海砂、山砂）、天然砂利、砕砂又は砕石	③ (①)	<p>【都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物の場合】</p> <p>○本品目については、統成品目「都市ごみ溶融スラグ混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきます。</p> <p>○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>・環境安全性、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため</p> <p>○上記課題を解決した後、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
下水汚泥溶融スラグ混入アスファルト混合物	道路用溶融スラグ骨材	一般廃棄物や下水汚泥等を溶融炉で処理する際に副産物として生成される溶融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した道路用骨材	溶融スラグを原料として有効に活用し骨材として利用することによりごみや下水汚泥の最終処分量を削減できるとともに、天然資源の消費量を抑制できる。	天然砂（海砂、山砂）、天然砂利、砕砂又は砕石	③ (①)	<p>【下水汚泥溶融スラグ混入アスファルト混合物の場合】</p> <p>○本品目については、統成品目「下水汚泥溶融スラグ混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきます。</p> <p>○JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>○目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>・環境安全性、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため</p> <p>○上記課題を解決した後、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
コンクリート用再生骨材	構造用再生骨材	<p>ダイヤゲイトは、特定建設資材廃棄物に指定されたコンクリート塊を原料として、300℃程度に加熱・摩砕（加熱すりもみ法と称す）処理して、構造用コンクリートの普通骨材規格値を満足した再生骨材である。従来の再生骨材は、破碎処理のみでセメントの付着量が多く、骨材の密度や吸水率といった、基本的な物性が低いために、コンクリートの耐久性が劣る等の課題を解決できず、構造用コンクリートへの適用が認められなかった。</p> <p>ダイヤゲイトは、セメント分を十分に除去し、天然骨材と同品質まで高度化した再生骨材であり、コンクリートの強度、耐久性、施工性が、天然骨材使用のコンクリートと同等で、建築物や工作物の構造躯体へ使用可能である。</p>	高度成長期に建造したコンクリート構造物が解体時期を迎え、今後、大量のコンクリート廃棄物が発生する。道路整備が進み路盤材利用にも限界があることから、路盤材等のリユースが困難になった場合、排出量が膨大であるコンクリート廃棄物は、社会的、環境的に多大な影響を与えてしまう。当該資材は、コンクリートからコンクリートへの資源循環型の再利用で、最終処分の延命策となりこと、新材料の採取に伴う、環境負荷の低減に貢献できる。	コンクリート用の普通骨材（JIS A 5308附属書1の骨材）	② (①)	<p>・公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていないため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました</p> <p>・上記課題を解決した後、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります</p>
既成調合モルタル	既成調合モルタル（タイル工専用）	既製調合モルタルとは、セメント・細骨材・混和剤等を予め工場において所定の割合に配合して製造した建築資材です。既調合モルタルは昭和30年代から普及がはじまり、時代とともに品質規格も整備され、1998年には、公共建築協会で建築資材評価名簿に記載され、今日では建築現場の必需品となっています。当社では、この既製調合モルタル（タイル工専用）の主原料として使用する細骨材（天然珪砂等）を高炉水砕スラグ砂（製鉄副産物）に100%代替する技術（天然砂同等細骨材）を確立し商品化を実現しました。この提案製品は建築資材から二酸化炭素の削減を支援できる製品であり、品質面、コスト面においても判断資料が準備できましたので提案いたします。	建築現場では、モルタル（タイル工専用）の天然珪砂等の細骨材の総量として年間約215千トン（平成16年実績推定として）、使用されています。これらのモルタル用細骨材は、何らかの環境破壊や掘削加工が行なわれ製品として流通しています。ここで高炉スラグ砂（製鉄副産物）に代替すれば、環境破壊や加工に伴う二酸化炭素排出は抑制できます。	天然珪砂等の細骨材を使用している既製調合モルタル（タイル工専用）	④ (①)	<p>・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました</p> <p>・上記課題を解決した後、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります</p>

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
既成調合モルタル	既成調合目地材	既製調合モルタルとは、セメント・細骨材・混和剤等を予め工場において所定の割合に配合して製造した建築資材です。既製調合モルタルは昭和30年代から普及がはじまり、時代とともに品質規格も整備され、1998年には、公共建築協会で建築資材評価名簿に記載され、今日では建築現場の必需品となっています。当社では、この既製調合モルタル(タイル工事)の主原料として使用する細骨材(天然珪砂等)を高炉水砕スラグ砂(製鉄副産物)に100%代替する技術(天然砂同等品細骨材)を確立し商品化を実現しました。この提案製品は建築資材から二酸化炭素の削減を支援できる製品であり、品質面、コスト面においても判断資料が準備できましたので提案いたします。	建築現場では、モルタル(タイル工事)の天然珪砂等の細骨材の総量として年間約215千トン(平成16年実績推定として)、使用されています。これらのモルタル用細骨材は、何らかの環境破壊や掘削加工が行なわれ製品として流通しています。ここで高炉スラグ砂(製鉄副産物)に代替すれば、環境破壊や加工に伴う二酸化炭素排出は抑制できます。	天然珪砂等の細骨材を使用している既製調合モルタル(タイル工事)	④ (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
モルタル用骨材	セメント混和用軽量発泡骨材	公共建築工事標準仕様書(建築工事編、平成16年版)の左官工事で規定をされている「内壁下塗り用軽量モルタル用の細骨材」の元規定である、「セメント混和用軽量発泡骨材」に、概ね適合した品目で、その骨材の成分は、有機骨材として、スチレン樹脂発泡粒、エチレン酢酸ビニル樹脂・炭カル発泡粒、塩化ビニル樹脂・炭カル発泡粒類等となっている。提案品目は、発泡スチロール梱包材など(スチレン樹脂に該当)の端材、EVAフォームスリッパ・草履など(エチレン酢酸ビニル樹脂に該当)の端材及びポリウレタンの端材を、定型粒度に粉碎・調整し、定量の容積に袋詰めした再生発泡プラスチックを使用したモルタル用骨材である。	現在大部分がサーマルリサイクルによって処理をされている、発泡スチロール・EVAフォーム・ウレタンフォーム廃材を代替材としたものであり、バージン原料から製造されるものと比較した場合、石油資源の使用量削減、廃プラスチックのマトリアルリサイクルによる再生材料の確立での廃棄物量の削減及び、焼却時におけるCO2シアン化水素ガスの発生抑制に積極的に寄与する。	バージン材から製造された有機質セメント混和用軽量発泡骨材。	④ (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
建築用塗料	有害金属を配合しない水性塗料(建物・屋内用) 提案No. T-1	屋外の無機素材、木材用として、鉛や6価クロム等の有害重金属を配合せず、VOCが5%以下の水性塗料。	建物の屋外に使用する水性塗料で、有害金属を含有せず、揮発性有機物質(VOC)を低くすることにより、人体への健康影響や大気汚染を低減できる。	合成樹脂調合ペイント、合成樹脂エマルジョンペイント	④ (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
建築用塗料	有害金属を配合しない水性塗料(建物・屋外用) 提案No. T-2	屋外の無機素材、木材用として、鉛や6価クロム等の有害重金属を配合せず、VOCが10%以下の水性塗料。	建物の屋外に使用する水性塗料で、有害金属を含有せず、揮発性有機物質(VOC)を低くすることにより、人体への健康影響や大気汚染を低減できる。	合成樹脂調合ペイント(VOC30%)、多液形エポキシシーラー(VOC70%)、1液溶剤形シーラー(VOC80%)	④ (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
建築用塗料	VOC1%以下の水性塗料	主として屋内の無機素材用として使用され、揮発性有機化合物(VOC)の含有量が1%以下の水性塗料。	地球温暖化やシックハウス症候群に代表される化学物質過敏症の要因と考えられる揮発性有機溶剤(VOC)の含有量を1%以下に抑えることにより人体への健康影響や、大気汚染を低減することができる。また、改正建築基準法によるホルムアルデヒド放散規制(F☆☆☆☆)に適合した塗料である。	合成樹脂エマルジョンペイント	④ (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
建築用塗料	脂肪族系溶剤を使用したアクリル樹脂系非水分散形(NAD)塗料	一般のアクリル樹脂エナメルや塩化ビニル樹脂エナメルには、トルエンやキシレン等の芳香族系溶剤が多く含まれているが、該NAD塗料（アクリル樹脂系非水分散形塗料）はこのような芳香族系溶剤ではなく、脂肪族やイソパラフィン系溶剤のみを使用した塗料である。	芳香族系溶剤を使用していないので、人体への健康影響や大気汚染を低減できる。又改正建築基準法によるホルムアルデヒド放散規制(☆☆☆☆)に適合した塗料である。	アクリル樹脂エナメル、塩化ビニル樹脂エナメル。	④ (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
建築用塗料	断熱塗料	中空セラミックビーズと酸化チタンをアクリルシリコン樹脂に添加した塗料である。通常の塗料を塗布する方法で施工するもので、一般的な断熱材の概念を超えた、断熱・遮熱・防音・防露など12個の驚異的な機能を持つ材料である。富士教育訓練センター（職業訓練法人 全国産業教育訓練協会）では、塗布式仕上げ断熱材施工として、正式にカリキュラムに組み込まれているものである。住宅や工場で使用し外部に塗布する事により、夏場の空調費を30%以上削減させたり、また、北海道で冬場内装に塗布しただけで、冬場の空調稼働率70%減と、蛍光灯の明かりを30%削減させた実績もある。他に、話し声が6～8デシベル軽減や熱エネルギーの反射という理論で結露防止などあらゆる場面で、省エネに有効な製品である。平成17年2月に、JAXAと知的財産利用許諾契約を結び更なる分野での使用が可能となる。	外側に塗布する事により夏場の建物内に侵入する熱を軽減させる。内側に塗布すると冬場の室内側の暖かい熱エネルギーのロスを軽減させる。よって、空調費の節減が可能となる。水性で指針物質VOC物質を含まないので環境に寄与する。ヒートアイランド現象を防止する為の実験を国立熊本大学と共同で進めている。	グラスウール	④③② (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・JIS、JAS等の公的規準を満足または準拠していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
建築用塗料	粉体塗装（アルミ建具用）	粉体塗装とは溶剤を使用しないで多色塗装が出来る塗装方法です。昨今は商業施設をはじめ他の建築物において建具に色々な色を塗装し、ポイントカラーとして使用される事が多くなっている。この色付け工程はアルミ材に樹脂パウダー（無溶剤塗料）を塗布後焼付処理する方法で工程中において揮発性有機化合物（VOC）を発生させずにアルミ材のカラー化が図れます。	溶剤塗装においては100g/m ² 揮発性有機化合物（VOC）が放散されるが粉体塗装ではVOCが0である。（日本粉体塗装協同組合資料に依る）	溶剤塗装方法によるカラーアルミ建具。	④② (①)	・マーケットが小さく期待される環境負荷低減効果が相対的に小さいと考えられるため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
カーペット	リサイクルタイルカーペット	使用済みのタイルカーペットのバックング層（PVC層）を粉体化し、その粉体原料を再度タイルカーペットのバックング層として再利用した環境対応のリサイクルカーペット（再生原料使用率（重量比）51%以上）。	産業廃棄物として埋め立て処分されていた使用済みタイルカーペットを再資源化し、循環利用することにより、最終処分場の延命に寄与し、さらに、CO ₂ 削減（後述）等、環境面へのメリットは顕著である。	バージン原料使用のタイルカーペット	④② (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
鏡	無鉛ミラー	建築材料に使用される鏡は一般的にガラス上に銀、銅、裏保護塗料の3層構成であるが、その内裏保護塗料には防錆用として、大半に鉛成分が混入している。当資材はその原料である裏保護塗料内に有害物質の1つである鉛成分を一切含まない鏡で、しかも耐食性は従来と変わらず、普及性にも富み、コストも同等程度であるため、環境対応にうってつけの鏡であるといえる。	裏保護塗料中に8.3%含有量のある鉛化合物がゼロに削減できる。鏡として建築使用後の産業廃棄物処理にて、有害物質の鉛が溶け出すことがない。また鏡の面取加工による排水に鉛が含まれないため、鉛の排出基準を遵守できる。	一般に有鉛裏保護塗料を使用しているミラー	④② (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
再生プラスチック	再生プラスチック（PP）製デッキ材	廃プラスチックのうち、主にPP（ポリプロピレン）・PE（ポリエチレン）を主材料として再生したデッキ材。廃プラスチックを破砕しブレンド・計量の上熱溶融し押出成型したもの。屋外のデッキ材等で使用。除却の際にもリサイクルが可能な循環型商品。	国内で排出される廃プラスチックをリサイクルすることにより、最終処分場の逼迫原因になっているプラスチックの埋め立て処分量を軽減できる。	樹脂製（プラスチック）デッキ材	④ (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります

特定調達品目候補群一覧表（資材）

提案品目名、品目概要及び環境負荷低減効果は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

統合品目名称	提案品目名	提案品目の概要	環境負荷低減効果	比較対象品目名	検討結果	
					分類	理由等
人工土壌	再生セラミック土壌	当資材は、製紙工場から排出されるペーパースラジ焼成灰を用いたリサイクルの人工軽量土壌で、主に屋上緑化基盤材として利用されるものである。再生紙工場では、古紙の処理過程で発生するペーパースラジ汚泥（古紙に含有する粘土鉱物と微細パルプ繊維）を焼却し、減容化した後、セメント工場や埋立て処分している。このペーパースラジ焼成灰は多孔質で軽量であり、保水排水に優れ、陽イオンの吸着能（CEC）を有するなど、植栽基盤として有効な性質を有している。これに必要な養分等を添加することで屋上緑化に適した人工軽量土壌を製造できる。ヒートアイランド現象の緩和策が急務な現在、軽量土壌の需要は数十万㎡と試算されるが、多くが珪藻土や軽石、パーライトなどの天然資源を利用したものであり、採掘に伴い環境破壊が生じている。再生セラミック土壌を用いることで、自然環境に配慮した屋上緑化が推進できる。	珪藻土や軽石、パーライト等の天然資源の採掘を縮減できる。また大消費地である首都圏への運搬に係るエネルギーを大幅に削減できる。	珪藻土焼成物等の天然資源を用いた軽量土壌	④ (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
変圧器	省エネルギー型変圧器	変圧器は既にグリーン購入法の対象となっているが、その「判断の基準」は、省エネ法のトップランナー基準となっている。2005年4月にそのトップランナー基準がJIS規格に取り込まれ、「判断の基準」を満足する変圧器が一般の標準品となってしまった。しかし、市場には、この新しいJIS規格標準型変圧器に比べ10%以上エネルギー消費効率が高い「省エネルギー型変圧器」とも言うべき変圧器の一群があり、変圧器の省エネ化をリードしている。	ビルや工場稼働している変圧器による電力損失は、現在約340億KWh/年と推定される。トップランナー基準の適用でこれが約30%削減され約240億KWh/年になると推定されるが、「省エネルギー型変圧器」が普及すれば、更にこれを10%以上削減できる。	JIS標準型変圧器（従来のトップランナー変圧器）	④ (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります
衛生器具	省電力型工場生産性型浄化槽	FRPを原料とする。回転成形法、ハンドレイアップ法で製造される。一般的には地中に埋めて使う。数十年間使えるので廃棄することはまれであるが、廃棄時は掘り起こして処分する。	省電力型で電力消費量が少ない	一般的な工場生産性型浄化槽	④③② (①)	・判断の基準を設定することが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・目的物の性能を確保するための十分な確実性を得ることが難しいと判断し、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・公共工事における使用実績が十分でない等、実際と同等の条件下で検証及び評価が十分になされていなかったため、次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました ・上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります